

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
ローズステークス	別定	GII	阪神	芝1800m	良想定	瞬発	中荒れ	C

※文字色の意味

2018/9/16

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	レッドランディーニ	松山	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ミスターグリーリー	ミスターグリーリー	A	B	C	D	C	C	10	△5		10
2	ウスベニノキミ	和田	エイシンフラッシュ	キングマンボ	ステイゴールド	サンデーサイレンス	C	C	C	C	C	C	11	△4		11
3	スカーレットカラー	太宰	ヴィクトワールピサ	サンデーサイレンス	ウオーエンブレム	ミスターグリーリー	C	D	C	C	D	D	13	消		13
4	ラテュロス	秋山	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	タッチゴールド	ヴァイスリージェント	A	D	D	C	D	D	14	消		14
5	サラキア	池添	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ロミタス	ニジンスキー	A	A	B	C	B	B	2	☆		2
6	オールフォーラヴ	川田	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	キングカメハメハ	キングマンボ	B	C	B	B	C	B	4	△2		4
7	センテリユオ	北村友	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	エンドスウィープ	ミスターグリーリー	A	C	B	C	C	B	7	△1		7
8	サトノワルキューレ	Mデムーロ	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ロワノルマン	レイズアネイティヴ	A	B	B	A	B	B	1	▲		1
9	アンコールブリュ	藤岡康	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ウイニングチケット	グレイソヴリン	A	D	C	C	D	D	12	消		12
10	フィニフティ	福永	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	クロフネ	ヴァイスリージェント	B	D	C	C	D	D	6	消		6
11	トーセンプレス	柴田善	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ファルブラヴ	ノーザンダンサー	A	B	B	B	B	B	5	○		5
12	ゴージャスランチ	横山典	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	シーキングザゴールド	ミスターグリーリー	C	B	C	B	C	C	9	△3		9
13	カンタービレ	ルメール	ディーフィンバクト	サンデーサイレンス	ガリレオ	サドラーズウェルズ	B	D	D	B	C	D	3	消		3
14	ウラスチャーム	藤岡佑	ルーラーシップ	キングマンボ	フジキセキ	サンデーサイレンス	C	A	B	B	B	B	8	◎		8
15	レオコックブルー	浜中	ペーカバド	ダンジグ	エルコンドルパサー	キングマンボ	D	C	D	D	C	D	15	消		15

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>秋華賞を見据える上で最重要のトライアルと言えるのがこのローズステークス。秋華賞に直結しやすいレースではあるが、冷静に考えてみると秋華賞とは全く異なる舞台で行われるのがこのトライアルレース。コーナー4回の2000mで激流のポテンシャル勝負になるのが秋華賞に対して、このローズステークスはコーナー2回の1800m。秋華賞ほどペースは上がりやすく、それでいてレース全体に対する直線部分の比率が秋華賞よりも明らかに大きい。必然的に秋華賞よりも未脚特化型のレースになりやすく、過去5年の勝ち馬のうち4頭が4コーナーで10番手以下というのもそれを表している。</p> <p>今年はぱっと見て先行馬が少ないように見えるが、同じように先行馬が少なく見えた2015年でもハイペースになりましたし、安易にスローペースで前残りを狙うようなレースではない。実際に上がり最速をマークした馬は毎年ほぼ間違いなく対峙していますし、とにかく絶対的な未脚を繰り出せる馬を狙うべきレースだろう。</p> <p>本命は未脚の絶対値という点で◎ウラスチャームの可能性に賭けてみたい。もともとこの馬は新馬戦後のサウジアラビアRC3着馬をぶっこぬいてクラシック候補として期待されていた馬。新馬戦で使ったレース上がり32.0はいくらスローでも並の馬では出せるはずがないもので、この時点で素質の片鱗は見せていた。ただ、いかにもな遅咲き血統の宿命か、それ以降は中盤が流れるレース質に対応できず、なんとか追走して最後まで伸びずというレースの繰り返し。それでも陣営が早めに春のクラシックを諦めて自己条件をゆったりとした間隔で使った事により徐々に追走力も身につけていよいよその素質が開花というところまで来た。</p> <p>ここ数戦は走ると一気に指数を押し上げており今まさに成長期という感じ。前走は準オープンといってもおかしくないハイレベルなメンバーが揃っていた上に、この開催の芝1800m戦では抜けて速い時計になったレース。道中のペースも淀みなく流れており、今まで弱かったミドルラップ戦も克服。その上で直線では馬群の中で進路を確保できずに何度も切り返すロスがありながら最後は勝ち馬と並ぶところまで追った。まずスムーズなら前走は優勝していたはずで、そうならないければ唯一の1000万勝ちとして今回のレースでも中心視されていたはずだ。</p> <p>新馬戦で見せた圧巻の上がり32.0という未脚。そして前走で淀みない流れの中でも抜けた未脚を見せた点を見て今回のメンバー相手でも未脚の絶対値は通用していいはず。今回は加速を邪魔されない絶好枠を引けた感じで、鞍上も今のJRAならば騎手で過剰人気しないで一番乗れる騎手と言ってい。ここはタッチングスピード、ラビットランの系譜を継いでこの馬が外から突き抜けて欲しい。</p>
REVIEW

血統						
<p>ディーフィンバクト産駒の成績が圧倒的。とにかくディーフィンバクト産駒の差し馬を買っておけば間違いない。あとはグレイソヴリン系が優勢。</p>						
適性						
<p>JRAでも屈指に差しが決まる舞台。スローになっても強い差し馬なら差してこれる。ただ道悪馬場となると話は変わる。</p>						
データ						
<p>○1番人気 (4-2-1-3) ○美浦所属 (3-1-2-11) 17.6% 23.5% 35.3% ○前走後継牝馬 (8-4-2-37) △前走条件戦で3着以下 (0-0-3-27)</p>						
ペース						
<p>ラテュロスの逃げをカンタービレが追いかける形か。極端なハイペースにはならないが、このレースの性質から言ってそこまでスローになるかも怪しい。決め手ある馬を買いたい。</p>						
危険な馬						
<p>カンタービレ=前走のオークスは完全に力不足を露呈しての惨敗。フラワーカップは時計がかかる馬場でスローペースを先行したデムーロのフライングプレイ。能力は大したことないはずで、地力問われる差し比べになるここでは厳しい。</p>						
妙味大な馬						
<p>ウラスチャーム=期待されたがスピード不足でなかなか活躍できず。ようやく馬体に身が入ってきた春ごろから安定して走れるようになった。前走はハイレベルなミドルペース戦でもしっかりと末脚を繰り出せましたし、詰まっていなければ突き抜けていたはず。</p>						
穴馬						
<p>特になし</p>						
<table border="1"> <tr> <th>タイム</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	タイム	上3F	下3F			
タイム	上3F	下3F				
ラップタイム						

Copyright (C) 2014 - KAZ
All Rights Reserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

